

## 調査5 景気が改善あるいは悪化している要因についての主な意見

### 《改善要因》

- 防衛費の増大、医療器の市場参入、オリンピックに向けた警備予算。(製造業)
- 増税前の駆け込み需要がある。(建設業)
- 特殊な梱包業者であることが認知されてきた為。(サービス業)
- TOKYO2020(サービス業)
- 新築住宅の増加で新規客の増加 定年の方が多い。(サービス業)
- 新規分野の商品ジャンルの拡大、効果はこれから。(卸売業)
- ハイテクビジネスの潜在需要。(卸売業)
- 利益幅を減らし、お客様に還元 接客向上。(飲食業)
- ターゲットを中高年から若者に変更したことが客数・単価アップにつながった。(飲食業)
- DMの集客UPにより売上は好調。(小売業)
- ここ数年で従業員の賃金上昇があり、消費も回復傾向にあると考えられる。(小売業)
- 物価・賃金上昇。(小売業)
- ネット通販が活発で、宅配便の需要増大。(運輸業)

### 《悪化要因》

- 米中貿易摩擦による景気の低下、受注の低下。(製造業)
- 生産工場的大幅な人員減少や機械の老朽化により生産量が減少。(製造業)
- 半導体製造機の各社大幅数量減。国内は海外への調達(部品)移行。(製造業)
- 営業力が弱い、優秀な人材がいない。教育不足。(製造業)
- 現代人の豊離れが加速。(製造業)
- 中国経済の停滞による輸出の減少。(製造業)
- 多摩市の公共工事を増やして欲しい。次世代の人材がいない。(建設業)

## 《悪化要因》

- 少子高齢化等で人口減少傾向から入居者が年々減少。建物の老朽化、生活様式の多様化等で入居率が悪化傾向。(不動産業)
- 消費税・増税がひびいていくと思う。(サービス業)
- 売上・利益の減少に反比例して、人件費の高騰が顕著。(サービス業)
- 市は全体的に活性がない 商店(個人店)の活気が欲しい ニュータウンの高齢化。(サービス業)
- 取引先数の減少。(サービス業)
- 少子高齢化で、子どもが減少している。(サービス業)
- 運送費の高騰、配車確保難、人件費の大幅上昇など、コスト増大。(卸売業)
- 飲食店の多様化と食生活の変化についていけない。(飲食業)
- 酒離れ 仕入単価の上昇。(飲食業)
- 最低賃金の上昇、有給取得の義務化、社会保険の加入などの諸経費増加により、売上が増加しても利益は前年比とかわらない。(小売業)
- 通販業界の価格競争が激しい。正常な利益をとるのは難しい。(小売業)
- 増税不安。暑さで購買意欲減。(小売業)
- 顧客の高齢化、衣料品が不調。(小売業)
- 年金問題、政治的要因による先行き不透明からの節約志向 消費税率変更による消費の消極化傾向。(小売業)
- 人件費高騰、時給UPにより経営圧迫している。(小売業)
- 格差の拡大 多くの中小企業とその従業員の売上と収入の実質減少傾向に対して、人手不足などのより物価は上昇。(小売業)
- 後継者がいない。(小売業)
- 労働者の賃金不足。増税による可処分所得の減少。(小売業)
- 高齢化と人口減少。(小売業)
- 人材不足で人件費が年々増加し、収支に悪影響が出ている。(運輸業)